NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事を読んで1200字程度の小論文が書ける力を育てる

2．学校名

京都府宮津市立養老中学校

3．実践者名（代表者名）

長砂　嘉繁

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択社会科　10人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事を読んで600字程度の意見文を書く

7．目標（狙い）

・新聞記事を読んで、世の中の動き(政治・経済等)に目を向けさせ、その記事の内容について論理の展開を工夫した意見を書くことができる力を身に付けさせる。

8．評価の視点

新聞記事の内容を要約し、読み手・聞き手を意識した論理的な文章を書くことができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

2年選択教科「600字程度の意見文を書く」(全20時間)中、選択国語(10時間)で「意見文の書き方」を学習し、選択社会(10時間)で「新聞記事を読んで600字程度の意見文を書く」

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞記事を読み、構成メモに5W1Hに沿ってまとめ、自分の意見をメモする。(1時間)
(2)新聞記事の内容をまとめ、立場を明確にして、自分の意見を書く。(1時間)
(3)小論文の型に沿って文章を書く。接続詞や文末表現も工夫する。(1時間)
(4)グループ内で小論文を読み、相互評価カードに記入し、交流する。(1時間)
(5)グループ内の意見を参考に推敲する。(1時間)

(留意点)
・興味があるだけではなく、その記事に対して、自分の意見が出せる新聞記事を選ぶことが大切である。
・自分の感想や体験、理想などを書いただけの作文ではなく、自分の意見を書き、具体例を出しながら、自分の意見がなぜそうなるのかを述べていくことが大切である。
・最初は200字程度の小論文を書くパターンに慣れさせていくことが大切である。また、例文を提示することも有効である。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

10.の学習を2回行ったが、1回目は、論文の形になりにくく「作文みたいになってしまった。」「感想文みたい。」などの声が多くあった。2回目は、かなりスムーズに進んだ。

12．成果と課題

与えられた課題が「新聞記事を読み、立場を明確にし、根拠をあげて意見文を書く」であったため、何気なく新聞記事を読むのではなく、記事の内容に対して、自分の考えを持ちながら読むようになった。但し、この取組が終わると、新聞に目を通すことが少なくなったので、短い意見文・小論文でいいから、定期的に課題を出し、この取組を継続していくことが力の育成に有効と思われる。